

警備業における通路を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	11～12	立体駐車場3Fと屋上をつなぐスロープ付近にて、駐車場整備業務中に、屋上駐車場を開放するためスロープ付近を歩いていたところ、アスファルトの大きな窪みに足をとられ捻った。	62	100～299
1	16～17	道路舗装改修工事現場において、片側交互通行による交通誘導業務を行っていた際、一方で路線バスの誘導に戸惑っていた同僚を手伝うため小走りで向かっていたところ、路面につまずき転倒してしまい、右ひざを地面に強打し負傷した。	65	—
1	9～10	警備業務の委託を受けているリニューアル建設工事現場入口の交通誘導警備中、現場へ入場してきた大型トラックを誘導していた際、入口に敷いていた鉄板が、凍り付いた雪が溶けかかって濡れており、足をとられ滑り転倒した際に右肩を打ちつけて負傷した。	64	300～499
1	11～12	駐車場において、車の誘導警備をしていた際、昼休憩のため守衛室に戻る時、守衛室前戸の段差3cm位のところでつまずき転倒し、右膝を強打した。	63	50～99
1	5～6	勤務先のB1F駐車場出入口近隣で、車両出発準備の為、壁面固定電話を探さべく走っている時、暗闇のため電灯のスイッチを探していた。足元に鉄製の台車があることに気付かず、足が引っ掛かり転倒して右足膝部を強く打撲した。	59	300～499
1	11～12	ポリ管取付作業の警備中、作業員に取付先端部の状況確認を依頼され、確認して戻る途中に積雪により凍った路面で足を滑らせて転倒した。	62	10～29
		浄水場において、警備員が夜間巡回中に経路上にある段差に左足首が引っ掛かり、		30

1	2~3	つまずき転倒し、痛みが引かず、後日に骨折と判明した。	55	~ 49
1	9~ 10	洗車機オープン作業のため、洗車機へ向かい作業後、洗車機横地面凍結のため足を滑らせバランスを崩し、地面に右手をつき指を骨折した。	65	30 ~ 49
1	14~ 15	機械警備業務に従事中、警報対応のため現場に入館しようとしたが、玄関前の段差の一部がスロープになっており、その切れ目の部分に足をかけたため転倒し、足首を捻って負傷した。	36	50 ~ 99
2	20~21	閉門時間になったので、ゲート「L字型・キャスター付き・ノンレール型（7.6m×1.25m）」を押して閉めている最中、閉門位置からずれてしまったので戻そうとゲート先端上部でキャスターの無い側を強く引っ張ったところ、倒れてしまいよけようとしたが左足に当たり負傷した。	55	10 ~ 29
2	10~11	警備持ち場へ歩いて移動中、路肩の縁石を乗り越えたつもりが、縁石に足が引っ掛かり左顔面から転んでしまい、後日病院に行ったところ、頸椎打撲とのことであった。1ヶ月後リハビリをすとの事で、その後は未定。	69	30 ~ 49
2	14~15	巡回警備業務に従事中、路場にて、車道から歩道に歩いて乗り上げる際に5cm程の段差に躓き転倒し、前のめりに倒れ右膝を擦傷した。	49	100 ~ 299
2	4~5	交通誘導中に交替で公衆トイレに行く途中、路上を歩いている時段差に左足を躓き転び左膝を打撲し骨折した。	74	30 ~ 49
2	22~23	道路及び川面（堤防改修）工事で作業中、休憩時間の為現場詰所に途中夜遅かった事もあり暗かった事と同時に足を滑らせ腰を強打した。尚、現場詰所までは法面で草も生えていて滑りやすい状態だった。日が経つにつれ痛みが酷くなり3度目の検査において腰に2カ所の骨折状態になり、現在通院状態である。（病院の通告入院が必要の為。）	73	10 ~ 29
		ガソリンスタンド内の洗車機付近を巡回中、風で散らかっていたゴミ（レシート）		100

2	1~2	を拾おうとして、足を滑らせ、仰向けに倒れ、尾骨から落ち、肩・後頭部・腰を強く打した。	65	~ 299
3	12~13	勤務中、車両の案内を終えて、その場から離れる際につまずき転倒した。	80	30 ~ 49
3	14~15	就業場所（建設現場）にて歩行者及び車両誘導業務中、休憩交代の為、現場ゲートに立哨位置を変更しようとした時、ゲート前の土に足をとられ転倒した。転倒するとき、とっさに左手で植え込みの縁石をつかもうとして、縁石の角の部分が当たり被災した。	71	300 ~ 499
3	11~12	交通誘導2級講習を受講していたところ、講習中の教室移動の際、廊下の段差に誤って躓き転倒し、膝を強く打し負傷した。	58	10 ~ 29
3	13~14	被災者は、付近での列車見張り業務の為、（貨物ターミナル駅）の門扉から入り現場に向かって線路上を歩いていた際、付近線路のトンネル入り口において、線路を横断したところ、何らかの障害物により足を取られて躓いて転倒した。その際、左足を強く地面に打ちつけたことで、履いていた安全靴内部の保護プレートと左足の指が強くぶつかり負傷した。	58	100 ~ 299
3	17~18	勤務先保育所の砂場にブルーシートを掛ける作業を行う際、後退した時に後方に木製のイスがあることに気付かず、足を引っ掛けて後ろ向きに転倒し、右足大腿部を負傷した。	75	500 ~ 999
3	12~13	業務を終了し、焼結事務所2階で伝票にサインをもらい、北階段を使用して1階に下りて帰ろうとした時、階段最下部にある泥落としマットにつまずき転倒し受傷した。	73	50 ~ 99
4	10~ 11	埠頭内において警備業務従事中、公衆トイレで用足しの後、自転車で持ち場へ戻る途中転倒し、左手首を骨折した。	54	10 ~ 29
	11~	歩道のマンホール規制警備中、フェンスの鎖に足を引っかけた際に左足から前向き		30

4	12	に倒れ、左足と手を強く地面に打ちつけた。	67	～ 49
4	16～ 17	トンネル土面整備警備勤務中、誤って転倒し、頭部を強打した。	72	～ 99
4	17～ 18	作業終了後、資材保管場所より帰宅する際に、資材保管場所と歩道を保安用資器材（カラーコーン）で区別しているが、本来またいではいけないカラーコーンバーをまたいで転倒し、右足を負傷した。	72	～ 49
5	14～ 15	被災者（以下「甲」という）は、就業場所にて車線規制誘導業務に従事していたところ、車両（脇見運転をし、工事帯に気付いていなかった）が被災者がいる工事帯側に突っ込んできたため、咄嗟に歩道側へ逃げた際に転倒し、腰を負傷した。	59	～ 99
5	6～7	出勤する時、駐車場から現場まで歩いている途中、敷地内（外側）で下り階段とスロープが一体となっている場所で、スロープ部分を歩いていたら階段の段差に左足を踏み外し、手をつきながら前へ転倒した。	39	～ 29
5	14～ 15	業務センターの作業台で商品の検品中に別の作業台で電話が鳴ったが誰も出ない為、急いで向ったところ、足元のボックスに躓き、側にあったステンレスの棚に脇腹をぶつけて転倒した。	61	～ 299
5	10～ 11	午前中、現場に向かい出発し、車線上にて転倒したが、そのまま現場に向かい、現場に到着した。終業後も痛みが引かなかった。	55	～ 499
5	13～ 14	勤務中トイレに行く際、段差で躓き左膝を強打し骨折した。	74	～ 29
5	11～ 12	現場内でケーブル移設工事に伴う交通誘導、現場の生コン車が入り出すので、通過時は道幅が狭いため、バケット車を移動させる整備を実施していた。坂上から坂下に移動中、石か草に足をとられ、頭から転倒しそうになったので左肘で止めた。	68	～ 9

6	15~ 16	工事現場にて交通誘導作業中、現場内を移動している時に、誤って道路脇の側溝に右足が挟まってしまい、転倒した。転倒した際に右足首を強く捻ってしまったため、右足首を負傷した。	58	30 ~ 49
6	15~ 16	街路樹剪定工事における交通誘導を行っている最中、のどが渴いたので、足元に置いていたお茶（水筒）を取ろうと屈んだ時にバランスを崩し、右膝をついた体勢で尻もちをついたため、右足をひどく捻ってしまい、右腿を負傷した。	69	100 ~ 299
6	15~ 16	ガス工事現場で掘削中、民家の駐車場から出る車を誘導しようとした時、誘導に夢中になり、ガス管理設用の穴を掘ってある事に気付かず、そのまま穴の中に両足から変な落ち方をした為、両足を怪我した。特に右足の腫れが酷くなった。	28	30 ~ 49
6	6~7	一車線を規制する工事で、警備をする為に事務所兼工場に集合し、現場へ行く予定であった。集合場所の駐車場に車両を止め、待機場場に向かっていた時、雨で滑って転倒し負傷した。	57	30 ~ 49
6	14~ 15	道路側壁草刈り作業施工の為、交通誘導に従事中、大型ダンプの通路を予見し路肩へよけようと後ろの草むらに一步下がったところ、実際には路肩がなく、崖になっており転落した。木に引っ掛かり、約3m下に投げ出されたが、現場にあった共同植木のユンボがアームを下ろし、それに掴まって引き上げられた。その際、右肩を強打したが、その日は整備を続けた。翌日朝、首が回らず肩の痛みもあった。	70	10 ~ 29
6	3~4	帰社後、資器材の片付けをしている際に、玄関の段差に気付かず足を踏み外し、捻って負傷した。玄関の照明は点灯しておらず、足元が見づらく段差に気付かなかった。	47	30 ~ 49
7	9~10	一人でマンホール内作業に伴う交通誘導中、左折する車両を誘導するため車道上から歩道上に移動しようとした際、歩車道境界ブロックに気づかずにつまずき、後ろ向きに転倒して左腕から地面について負傷した。	44	100 ~ 299
7	9~10	コンビニでトイレに入るため駐車、降車した際、車のドアに手を挟み負傷。	59	1~ 9
7	16~17	工事現場でダンプの交通誘導にあっていた。運転手より業務終了の署名をすると呼びかけられ急いで走り寄ったとき段差につまずいて転倒し、左肩を地面で強打	72	10 ~

		し打撲した。左肩腱板断裂と診断され手術を受けることとなった。		29
7	8~9	立体駐車場の連絡通路、横断歩道にて歩行者の誘導中、足をつまずかせて転倒。顎と唇を打撲して出血。	63	300 ~ 499
7	22~23	花火大会の雑踏警備を終え、集合場所へ移動している時、カルスト台地の遊歩道を歩行していた。夜間で足元が見えにくく、周りを見渡しながら歩行していて足元への注意が不足し、下り坂の段差に足をとられ、転倒し左手をついて負傷した。	53	30 ~ 49
7	11~12	大学病院において交通誘導に従事中、生コン車を小走りで誘導した際に、道路の段差に気付かず誤って転倒し、左膝と右手首を打ち負傷した。負傷した日は自宅で療養したが、痛みがひかなかった。	68	100 ~ 299
7	12~ 13	マンションの改修工事現場において、出入口に敷かれていた鉄板の上を、休憩をとるために現場から退場するため通行したとき、雨で濡れていた鉄板に足を滑らせ転倒し、臀部と腰を負傷した。	66	100 ~ 299
7	11~ 12	放置車両確認業務に従事中、横断歩道を自転車を降りて押して歩き、自転車に乗ろうとしたとき、溝に前輪が引っ掛かり転倒した。その際、足を捻り、ハンドルで胸を強打した。	59	300 ~ 499
7	12~ 13	高速道路の工事規制時に、車両の荷台からカラーコーンを降ろす際によろけて転倒した。高速道路の工事規制なので車両が前へ動きながら規制を設置するため、車両の動きとタイミングが合わなかった。	55	100 ~ 299
9	16~ 17	現場にて、次の現場へ移動のため、高所作業車に近付いた際に足元にあった障害物に足を取られ転倒、その際に左手で体を支え左手首を負傷した。（歩行者の誘導作業を終えて、車両に乗り込もうと近付いた際の転倒）	56	100 ~ 299
9	10~ 11	第1ゲートにて場内の車両を出す誘導作業をしたあと、よけてあったカラーコーンを元の位置に戻す際、第1ゲートに設置されているジャバラ（パネルゲート）を支えている、ワイヤーロープに右足を引っ掛け転倒した。その際、右手を地面につき右手首を骨折した。	69	50 ~ 99
		定時開放巡回中に体育館の段差につまずき、体育器具（平均台）に顔を接触し負傷		500

9	6~7	した。	59	~ 999
9	19~ 20	工場旧館警備室にて、事務イスにつまずき、後方のスチール棚にて下半身を強打、左足大腿骨を骨折した。	65	100 ~ 299
9	9~ 10	待機所としているアパートの玄関から出た時、玄関前の段差（高さ約20cm）を踏み外し、左足を骨折した。	38	300 ~ 499
9	11~ 12	路上において、電気工事の交通誘導警備を行っている際に対向車が来たため、道を譲ろうと小走りで移動した際、グレーチングで足が滑って転倒し、その際に左足を負傷したものである。	41	50 ~ 99
9	21~ 22	地域交流センター付帯である立体駐車場を終了確認、及び施錠のため3階から2階に下るスロープにてつまずき転倒した。その際、左肩を強打し鎖骨を骨折した。	45	50 ~ 99
10	12~ 13	仕事で出掛ける為、会社の車で出発、途中忘れ物に気がつき会社に戻り、駐車場に車を止めて降りて車のドアを閉め、歩こうとした瞬間につまずき、左手から転倒（左手、左ひじ、左の腰）した。痛くて、しばらくしゃがんでいるうちに、左手、首、ひじと腫れてきた。骨折した。	60	300 ~ 499
10	14~ 15	詰所で休憩後に警備場所に戻る途中、砂利敷きのところで右足が躓き、転倒した時に左膝を大きめの石に強打し受傷した。	39	300 ~ 499
10	1~2	警備実施中、地下駐車場の区画確保の為、台車にカラーコーンを載せ消灯中の地下駐車場へ向かう。その際、車止めに引っ掛けて転倒。右大腿骨を骨折した。	52	—
10	7~8	現場にて打ち合わせ終了後、社用車の駐車場から片側交互通行のストッパーの場所に配置につこうと歩いている際、現場付近の5cmの段差に躓き、左足をくじき、左足首を骨折した。	30	30 ~ 49
	9~	電気工事警備の途中に御手洗いを借り現場に戻る際、入り口が坂になっていたた		30

10	10	め、躓いて転倒した。前方に転倒したため、頬・手・足・腰等挫傷した。	63	～ 49
10	11～ 12	取引先へ必要な機材を取りに行った所、会社前の道路の凹凸に気付かず右足を取られて転倒。左目の下、鼻の下、おでこを強打。	69	30 ～ 49
10	17～ 18	倉庫の鍵を取るために社用車を会社の前に停車させて会社に入ろうとしたが、入口直前でつまずき転倒した。そのまま会社入口のガラス戸に頭から衝突し、ガラス片で顔面を大きく損傷した。	63	100 ～ 299
10	15～ 16	交通整理の警備を行っているとき休憩のため、休憩場所へ移動中、つまずき、転倒した際、右手を置いたため手首を骨折した。	64	30 ～ 49
11	12～ 13	農道（センターライン無しの片側1車線）を走行中、交差点に差し掛かった際、右後方よりスピードを上げて交差点に突入してきた相手方車両に追突され、頸椎を捻挫した。相手方は一時停止不履行であった。	59	100 ～ 299
11	16～ 17	マンション改修工事現場で、駐車場への塗料飛散対策の為、車両のカバーがかけてあった。居住者が車両を出すのに、カバーを外していたので、誘導及びカバーを回収しに行こうとした際に、足がもつれて転倒し、骨折した。	61	1～ 9
11	16～ 17	現場作業終了後、当社駐車場で、会社トラックから現場で使用する道具を社用車へ移し、帰ろうとした際、資材置場と駐車場の段差に躓き足を捻り左足第5中足骨を骨折する。急いで帰ろうとして足下を十分に確認しなかったことが原因と考えられる。	50	30 ～ 49
11	21～ 22	勤務先の防災センター内で無人防犯センサーの設定確認作業中、転倒しないランプがあり、その隣のランプを確認しようとした。その際ランプが上の方にあり、見にくかった為、背伸びをしていたらバランスを崩し、滑って近くの机に右足をぶつけた。その後、数日たっても痛みがひかなかった為、後日に受診した。	63	100 ～ 299
11	8～9	業者の班長さんに出発指示され、車に乗ろうとして、段差がある所に躓いて転倒した。その折、身体をカバーした左手指を骨折した。	68	10 ～

				29
11	15~16	会社の駐車場の倉庫で倉庫内の片付けと工事に使用する看板と倉庫前で修理を行っている時に、修理する看板を持って、次の作業の準備をするために、地面に置いてある看板を跨いで、移動した際に、後足が跨いだ看板に掛かり、バランスを崩して転倒した。その際に倉庫に立て掛けてある電光表示板に顔面を打ち負傷した。	63	100 ~ 299
11	19~20	会館の駐車場で、場内を仕切っている、高さ10cm程度のブロックに躓き転倒した。右側前頭部から側頭部にかけて強打し、頭部より出血した。転倒後、身体四肢の感覚が無く、自力で動けない状態であった為、救急車を要請し、大学病院へ搬送した。	63	50 ~ 99
12	21~22	巡回中、1階後方トラックヤード前通路を歩行していた際、障害物を避けようとしてつまずき右足を挫く。	46	1~ 9
12	15~16	路上で作業員B、Cと共に警備員Aが道路向かい側に横断した時に、除雪車が除雪した氷面状態の路面を歩き、右足がスリップして、左足でバランスを取ろうとして、左足に全体重がかかる無理な体勢となり転倒した。	48	30 ~ 49
12	11~12	水路工事現場において、工事車両の出入りに伴う交通誘導警備中、工事車両を後進誘導する際、敷鉄板にかかとをひっかけて尻もちをつくような状態で転倒し、左大腿部を負傷したものである。後進誘導の際、足元への注意が不十分であったと認められる。	68	100 ~ 299
12	8~9	コイン洗車場にて、作業に使う車両を洗車中に凍結している地面に足を滑らせ転倒し、足首をひねりケガをした。	54	30 ~ 49
12	10~11	被災労働者が、スキー場内の駐車場で車を誘導していたところ、凍結した路面に足をとられて転倒し、頭部を打ち、その後、手足にしびれが出た。	65	10 ~ 29
12	8~9	店舗にて警備として勤務中に、交通誘導（駐車場）警備のため駐車場へ移動しようと下り坂を歩行中、凍結していた路面で転倒した。右足が痛み病院を受診したところ、骨折していた。	66	100 ~ 299

12	22~23	倉庫内で、高所に設置されているシャッターのセンサーを点検しようと、脚立に登っている途中で足を踏み外し、後頭部から落下しそうになったため、頭部からの転落を防ぐためにそのまま脚立から飛び降りた際、左足で着地した。	10 52 ~ 29
12	20~21	駐車場を巡回するため階段で屋上に上がり、屋上で転倒した際に車止めに頭部を強く打し、意識を失っているところをお客様が発見し、通報した。救急隊の到着時には、誕生日などを答えられない等の意識障害が見られ、病院で手術後、入院した。	30 50 ~ 49

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_11.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html)